

# 公共劇場舞台技術者連絡会 令和元年度総会報告

開催日時：令和元年5月7日 14:00～17:30

場所：堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺 大スタジオ（2階）

公共劇場舞台技術者連絡会（公技連）は舞台技術部門職員を有する全国の公立文化施設の劇場及びホールまたは施設を運営する法人で構成され、公立の劇場やホールの劇場技術者が連携し、各劇場間の諸問題の調査研究や情報交換・研修を通して、公演製作作業の安全基準及び運用管理基準の策定と普及を行い公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目的とする組織である。

公共劇場舞台技術者連絡会事務局より配布された「令和元年度総会」式次第に沿って、堀内会長（KAAT神奈川芸術劇場）の議事進行により、議案の説明および会員による採択が行われた。

詳細は次の通り。

開 会 会長挨拶：堀内真人会長  
会館代表あいさつ：橋詰充氏  
各館の近況報告（23施設52名の出席）

## 議 案

- (1) 平成30年度事業報告および決算報告
- (2) 代表委員確認および新規入会について
- (3) 役員改選について
- (4) 令和元年度事業計画案および予算案について
- (5) その他報告及び検討
  - 公技連の活動について
  - 基準協ならびに文化芸術推進フォーラムについて
  - 舞台技術者連合の動向報告
  - フィードバックシートについて
  - 協働プロジェクトについて
  - ホームページについて
  - 事務局のメールアドレスについて

### 【第1号議案】 平成30年度事業報告および決算報告

事務局より事業報告および決算報告の説明が行われた。出席会員に承認された。

### 【第2号議案】 代表委員確認および新規入会について

事務局より各館の代表確認が行われた。また、新規入会の希望（堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺）の説明が行われ、出席会員に入会を承認された。

### 【第3号議案】 役員改選について

事務局案についての説明があり、以下のとおり出席会員に承認された。

会 長	KAAT神奈川芸術劇場 堀内真人（再任）
副会長	兵庫県立芸術文化センター 関谷潔司（再任） 新国立劇場 櫻井拓朗（再任）
監 事	世田谷パブリックシアター 熊谷明人（再任）
顧 問	大和滋（公益社団法人 日本芸能実演団体協議会 顧問） 眞野純（神奈川芸術劇場 館長）
事務局	押谷 征仁（びわ湖ホール）（再任） 白神 久吉（東京芸術劇場）（再任） 坂口 剛（まつもと市民芸術館）（再任） 山本 基之（水戸芸術館）（再任）

### 【第4号議案】 令和元年度事業計画案および予算案について

#### 1. 令和元年度事業計画(案)

事務局より令和元年度事業計画（案）について提案の後、質疑と討議を促し、出席会員による拍手で承認された。なお、定例連絡会と専門分科会は8～9月と2月を目処に事務局にて開催場所と開催日を検討することとなった。

#### 2. 令和元年度予算（案）

事務局より予算（案）について提案後、出席会員に承認された。

### 【第5号議案】 その他報告及び検討

#### 1. 公技連の活動について

- ・定例連絡会は年に2回、事務局が招集し開催されることとなる。
- ・専門分科会は、安全確保や個別の技術的な問題について開催する場とし、研鑽の機会を持つ場とする。
- ・現状専門分科会は東地区：世田谷パブリックシアター、中地区：愛知県芸術劇場、西地区：北九州芸術劇場が担当で2年行ってきたが、開催館の負担が大きく、担当を変えてほしいという意見が多い。
- ・「働き方改革」「安全対策」に関しての意見が多く見られた。専門分科会でのテーマとしても議論したい。代表委員は各館の意見をまとめた上で専門分科会の場に臨んでほしい。また、公技連加盟館でそれぞれの見解がずれすぎないように、公技連としての「働き方改革」「安全対策」に関しての見解を出したほうが良いという意見もみられた。

#### 2. 基準協ならびに文化芸術推進フォーラムについて

- ・「舞台技術の共通基礎」の改訂作業を引き続きおこなう。

#### 3. 舞台技術者連合の活動報告

- ・舞台技術者連合の動向について堀内会長より説明があった。

#### 4. フィードバックシートについて

- ・27件の新規記載があった。引き続き継続的に行いたい。現状、セクションごとに書式が分かれており、記載しにくい内容があるとの指摘があった。より記載

- しやすいように書式を変更してほしいとの意見があった。
5. 協働プロジェクトについて
    - ・基本制作館が取りまとめ事務局に報告する方向で調整する。
  6. ホームページについて
    - ・活動の見える化を引き続き進めていきたい。
  7. 事務局のメールアドレスについて
    - ・各館の調整の際、個人宛での連絡がわかりにくいという意見があった。今後事務局のメールアドレスを活用していく方針。

以上、5議案について提案した後、出席会員に承認された。



文責：公技連 事務局